

令和6年度 児童福祉司・市町職員等キャリアアップ研修(第5回)開催要項

1 目的

児童福祉司や市町職員等が児童虐待防止対策に関わる上で必要とされる知識やケースワーク技法、ケースワークマネジメント技法等を習得することを目的に開催します。

子ども達の安全で安心なそだちについて考え、支援に有効な面接スキルを学びます。

2 実施主体 山口県

3 実施機関 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

4 対象者

児童相談所の児童福祉司、児童心理司、市町担当職員(児童虐待防止対策に関わる部署)等

5 定員 30人

6 日程、内容、演題及び講師

開催日	時間	演題・講師	
11 月 21 日 (木)	9:30～9:50	受付	
	9:50～10:00	開会	開講・オリエンテーション
	10:00～16:00	講義 ・ 演習	「安全志向の応援を目指して」 ～解決志向の面接トレーニング～ 講師：そだちと臨床研修会 すがの みちひで 菅野 道英 氏 38年間、児童相談所で児童心理司、児童福祉司、SV、 管理職などの仕事をして、2017(H29)年3月、定年退 職。在職中は、厚生労働省 社会保障審議会専門委員な ども務める。現在は、フリーランス(そだちと臨床研究 会 代表)。これまでの経験を生かして、講演や子ども家 庭福祉の専門職のトレーニングを行っている。また、 小学校・中学校・高等学校のスクールカウンセラーとし て現場で研鑽を積んでいる。 (昼食休憩は12:00～13:00を予定)
	16:00～16:10	閉会	閉講・アンケート記入

7 会 場 山口県セミナーパーク 一般研修棟 研修室201

8 受講料
無料

9 申込手続

(1) 申込方法

「山口県社会福祉協議会福祉研修センター」のホームページ (<https://yg-fkc.com/>) からマイページにログインし、該当研修の申込フォームからお申し込みください。
※事前に所属単位での「事業者登録」が必要です。(既に登録済みの場合は不要)

(2) 申込受付期間

令和6年10月17日(木) ～ 11月7日(木)

(3) 受講決定

受付期間終了後に(1)で登録されたアドレスにメールでお知らせします。
定員超過等をやむを得ずお断りする場合もメールでお知らせします。
なお、申し込み状況はマイページ内の「研修申込状況」で確認できます。

10 食事

昼食は各自で準備するか、併設の食堂を利用してください。

11 個人情報の取扱い

申込フォームに記載された個人情報は、研修会の運営管理のみに使用します。

12 その他

- (1) 自然災害等のやむを得ない事由により研修を開催できない場合は、前日の午後3時までにHP (https://yg-fkc.com) に記載しますので、前日に必ずホームページを確認してください。
- (2) 欠席される場合は、研修前日までに必ず連絡してください。
- (3) 研修当日に、発熱や体調が悪い場合は、研修への参加を控えてください。
- (4) 遅刻する場合は、速やかに連絡してください。
- (5) 研修当日は、各自でマスクを持参してください。

13 申込・問合せ先

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 福祉研修部(福祉研修センター)
担当：伊藤
〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)
TEL：083-987-0123 FAX：083-987-0124



14 アクセス

<山口県セミナーパーク>

所在地：〒754-0893 山口市秋穂二島1062



15 講師プロフィール

略歴

昭和54(1979)年3月 立命館大学文学部哲学科心理学専攻卒業

昭和54(1979)年4月 滋賀県彦根児童相談所に心理職として勤務

中央、彦根の児童相談所で児童心理司として勤務、途中4年 虐待・DV対応グループで児童福祉司として初期介入、再統合を担当し、判定担当グループリーダー、相談担当グループリーダーなどを務める。

平成25(2013)年4月 滋賀県彦根子ども家庭相談センター所長。

平成29(2017)年3月 滋賀県を定年退職。

平成29(2017)年4月 多賀町に嘱託(臨床心理士)として勤務。

令和4(2022)年4月 京都先端科学大学附属中学校高等学校にSCとして勤務。

資格

臨床心理士 滋賀県臨床心理士会会長

所属学会

日本心理臨床学会、日本家族研究・家族療法学会、日本子ども虐待防止学会、対人援助学会

著書・活動

[編・著]

「日本の児童相談所」-子ども家庭支援の現在・過去・未来- 2022 明石書店

[分担執筆]

「となりの事情」-平成家族案内- 団士郎編 1995 ミネルヴァ書房

「児童虐待と児童相談所」-介入的ケースワークと心のケア- 岡田隆介編 2001 金剛出版

「実践から学ぶ児童虐待防止」 谷口卓・末松正和編 2007 学苑社

「家族援助論」-保育士養成テキスト9- 野澤正子・森本美絵編 2008 ミネルヴァ書房

「児童虐待はいま」-連携システムの構築に向けて- 津崎哲郎・橋本和明編 2008 ミネルヴァ書房

「子どもを守る地域ネットワーク活動実践ハンドブック」-要保護児童対策地域協議会の活動方法・運営Q&A 加藤曜子・安部計彦編 2008 中央法規出版

「子ども虐待防止のための家族支援ガイド」-サインズ・オブ・セイフティ・アプローチ入門- 井上直美・井上薫編 2008 明石書店

クレスコ No.124 東日本大震災 学校現場は今「子どもたちのそだつ力に寄り添って」 2011 大月書店

「子ども・家族支援に役立つ面接の技とコツ」-仕掛ける・さぐる・引き出す・支える・紡ぐ 児童福祉臨床-宮井研治編 2013 明石書店

「子ども・家族支援に役立つアセスメントの技とコツ」-よりよい臨床のための4つの視点、8つの流儀-川畑隆編著 2015 明石書店

その他、「中学校」No.765 2018 全日本中学校長会 など依頼により雑誌や機関誌に原稿執筆

[共著]

「発達相談と援助」- 新版K式発達検査2001を用いた心理臨床 - 2005 ミネルヴァ書房

「発達相談と新版K式発達検査」- 子ども・家庭支援に役立つ知恵と工夫 2013 明石書店

[編集委員]

「そだちと臨床」(年2回発行 現在休刊) 『そだちと臨床』編集委員会 2006～ 明石書店

[研究]

(分担研究)「児童虐待家族の支援の実践と検討」子ども未来財団平成16年度児童関連サービス調査研究事業報告書「虐待家庭の指導・支援についての調査研究」(主任研究者 大島剛) 2005

その他 厚生労働科学研究等に協力

「児童相談所における児童心理司の役割と養成」子どもの虹情報研修センター 2019

[委員]

厚生労働省 「今後の児童家庭相談体制のあり方に関する研究会」委員 2005～2006

厚生労働省 社会保障審議会専門委員 2014～2016

社会保障審議会児童部会児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会委員

社会保障審議会児童部会新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会委員

奈良市 児童相談所等のあり方検討委員会議委員 2017～

[活動]

「そだちと臨床研究会」代表 子ども家庭相談に関する講演・講習・専門職の養成・ワークショップの開催

「アセスメント研究会」流通科学大学 加藤曜子教授主宰による家族支援のアセスメントとネットワークの研究